

2000年10月18日

県民意識調査
新知事と県政に望む
報告書

(2000年10月16日調査)

調査の設計	1
結果の概要	3
単純集計	5



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610
<http://www.nagano-yoron.or.jp>

I 調査の設計

調査の目的

20年ぶりに新人同士が戦った県知事選挙は、田中康夫氏が当選し、長野県は「全国最年少リーダー」のもと、21世紀へと踏み出すことになった。選挙戦では政策論争と併行して「官か、民か」「継続か、改革か」「組織か、草の根か」など、各候補の基本的なスタンスが問われ、幅広く県民を巻き込む論議が盛り上がった。

田中新県政のスタートは、県債残高1兆6000億円に達する財政難や公共事業の見直し、中心市街地の活性化、高齢者福祉、環境保護などの課題が目白押し。さらに、副知事任命などの県庁幹部人事、オール野党状態の県議会との関係など、来年度予算編成を控えた新体制作りも急がれる。

県民各層は、今度の審判をどう受けとめ、新知事と県政に、どのような期待感を抱きつつ、その第一歩を見守っているのか、緊急調査で探った。

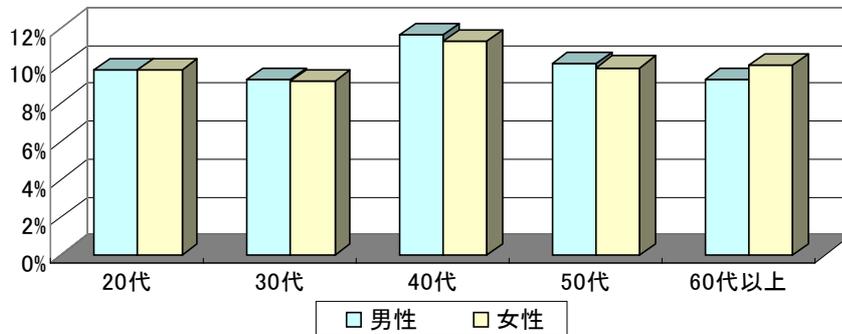
調査の設計

調査対象	長野県内に住む20歳以上の男女800人
抽出方法	県内を東北中南の4地区に分け、さらに20～60代以上の5つの年代層・性に分割し、有権者数による比例配分で、各市・各郡の対象者数を設定。 NTTの電話帳から一定のルールにより、無作為抽出した世帯から、設定した年代・性の人を1人選んだ。
調査方法	電話
調査期間	2000年10月16日
調査地点	17市18町10村
回収結果	各市・各郡とも年代・性の人数に達するまで抽出を繰り返したので、回答者数は対象者数と同じ800。

サンプルの内訳

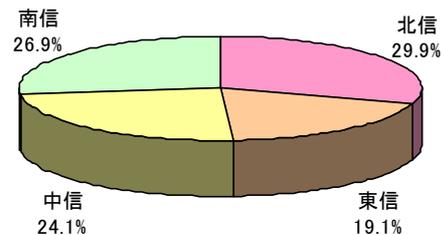
【性別と年代】

	全体	20代	30代	40代	50代	60代以上
男性	400 50.0%	78 9.8%	74 9.3%	93 11.6%	81 10.1%	74 9.3%
女性	400 50.0%	78 9.8%	73 9.1%	90 11.3%	79 9.9%	80 10.0%



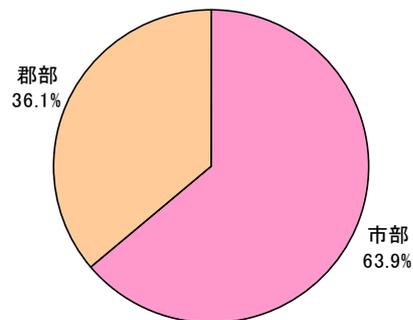
【居住地】

北信	239	29.9%
東信	153	19.1%
中信	193	24.1%
南信	215	26.9%



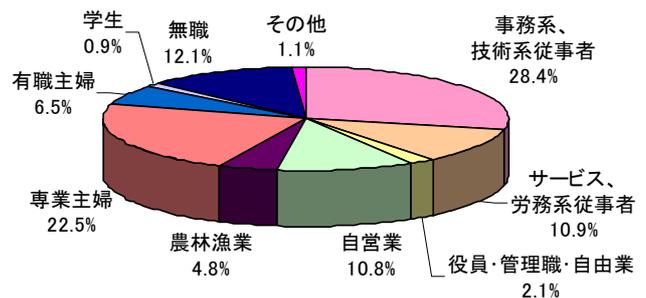
【市郡別】

市部	511	63.9%
郡部	289	36.1%



【職業】

事務系、技術系従事者	227	28.4%
サービス、労務系従事者	87	10.9%
役員・管理職・自由業	17	2.1%
自営業	86	10.8%
農林漁業	38	4.8%
専業主婦	180	22.5%
有職主婦	52	6.5%
学生	7	0.9%
無職	97	12.1%
その他	9	1.1%



(小数点以下2位で四捨五入)

II 結果の概要

知事選結果の満足度

「かなり満足」だけでも3割を突破し「満足」は全体で8割に達した。「不満足」は2割に届かない。性別、地域別ではめだつた違いはないが、高い年代層に「不満足」が多めになっている。田中氏を当選に押し上げる原動力になったとみられる無党派層は「満足」が8割半ばに伸び、逆に「不満足」は自民党支持層で3割を超え、共産党も約3割を占める。

候補支持の理由

「人物・人柄」が支持理由（投票しなかった人を含めて質問）のトップ。次いで「民間出身」が挙げられた一方で「県庁出身」「女性出身」は低位。第3位に「公約・政策」がランクされたが「団体・政治家の推薦」は振るわず、今回の選挙結果を裏付けている。

知事選の受けとめ

従来吉村県政との関係 「継続が大事」は約1割にとどまり、「改革が必要」は8割半ばにのぼる。こんどの選挙結果の満足度との関連をみると、満足派の9割前後が「改革」を支持するが、不満足の場合ほど「継続」に傾き「まったく不満足」では「改革」に並ぶ勢いをみせ、支持層の際立った違いが浮き彫りになった。

町村長こぞの推薦活動 「望ましい」が2割台だったのに対して「望ましくない」は、その約3倍の6割半ばに達し、県政継承に対する判断に連動したかたちだ。

新知事に望む優先的な仕事

「福祉・医療」が圧倒的に多く、30人学級の訴え、信州教育のあり方で論議された「教育」が二番手に浮上した。次いで「環境」「行財政」が挙がり、当協会が昨年秋、知事選1年前に行った「21世紀に向けた県政の課題」調査（郵送・全県・1200人対象）の上位4項目と変わらず、県民の強い願いが反映されている。同調査5位だった「農林業」や「商業・観光」「工業」の産業面は、後方に置かれている。

県政課題の取り組み

選挙戦の争点や公約として取り上げられた「財政の健全化」「情報公開」「ごみ・廃棄物規制」の重要課題は、いずれも9割を超える期待が集中。その中で「財政」では吉村県政の「改革」を重視する人ほど、積極的なアプローチを望んでいる。「情報」の期待は1年前調査に比べて、ぐんと高まった。

「中心市街地の活性化」の期待感は、6割半ばにとどまったが、女性や高い年代層で強めに出ている。加えて、市部の比率がやはり高めになっている。

新知事の資質や手法

「独自性」「民間感覚」「透明性」のスタンスは、1年前調査で上位に選ばれ、分権時代ではとりわけ重視される。今回、知事選が終わった段階でも、そろって8割を超える期待が示された。

選挙結果の満足度と改革志向の強い人ほど、いずれの項目も、前面に押し出してほしいという期待が濃厚だ。

県政の運営

県議会との関係 新知事にとって、オール野党状態の県議会との関係は、吉村知事時代の圧倒的与党や今選挙の支持状況が絡み、当面最も注目される点だが「緊張の関係」を重視する人が5割、「協調の関係」の期待4割という結果になった。政党支持層では、自民党で協調派が5割を超え、公明党は協調・緊張が並んだのに対して、他の政党や無党派層は緊張派が優位だった。

行政の全県的バランス 「公平」重視が約7割に対して「地域重点」はその半分以下の3割弱。地域別で「公平」を望む立場では、南信72% - 東信64%といった温度差が生じている。しかし、市部・郡部の違いはほとんどない。

副知事の起用 各候補が公約に掲げた「2人制」「女性の登用」「公募制」が同列に並び「これまでと同じでよい」は少なめだった。「女性副知事」は若い年代層に期待が多めだが、女性自体の比率はめだって高くはない。

政党支持

民主党がトップで16.3%、自民党が3ポイント差で肉薄。当協会が今回の知事選告示1カ月前に実施した「2000年知事選」調査（電話・全県・1000人対象）の自民党16.0%、民主党14.3%の順位が入れ替わった。民主党は1区を除いて、支持率首位を確保した。3位以降は共産党、公明党、社民党、自由党がダンゴ状態で続く。

支持政党なし層は57.5%で、1カ月前調査より若干増え、20～30代は7割前後の高率を示した。

Ⅲ 単純集計

知事選の結果「満足」全体で8割超える

問1 今度の知事選について満足していますか		
かなり満足している	267	33.4%
まずまず満足している	379	47.4%
あまり満足していない	105	13.1%
まったく不満だ	26	3.3%
なんともいえない	23	2.9%

候補の支持理由「人物」トップ 2位「民間出身」

問2 知事選で候補者のどのような点を支持する参考にしましたか(2つ以内)		
人物・人柄	320	40.0%
民間出身	278	34.8%
公約・政策	241	30.1%
クリーンさ	158	19.8%
無党派	105	13.1%
関係する団体の推薦	45	5.6%
支持する政治家の推薦	35	4.4%
県庁出身	35	4.4%
女性候補	13	1.6%
その他	31	3.9%
特になし・わからない	20	2.5%

吉村県政とのつながり「改革」8割半ば

問3-A これまでの吉村県政との関係		
継続することが大切だと思う	78	9.8%
改革することが必要だと思う	688	86.0%
なんともいえない	34	4.3%

首長の推薦活動「望ましくない」6割半ば

問3-B 市町村長のまとまった推薦活動		
望ましい	189	23.6%
望ましくない	524	65.5%
なんともいえない	87	10.9%

力を注いでほしい分野「福祉・医療」群を抜く

問4 新知事には県の仕事のどの分野に力を入れてほしいですか(2つ以内)		
福祉・医療	386	48.3%
教育	226	28.2%
環境	198	24.8%
行財政	135	16.9%
交通	121	15.1%
情報・通信	121	15.1%
商業・観光	121	15.1%
農林業	66	8.3%
工業	36	4.5%
防災	31	3.9%
その他	17	2.1%
特にない	7	0.9%

「財政健全化」などの期待9割 「中心街活性化」6割半ば

問5 あなたは、県政の課題について、どのように取り組んでほしいですか。		
A 県財政の健全化について		
積極的に取り組んでほしい	731	91.4%
あまり優先しなくてもよい	49	6.1%
なんともいえない・わからない	20	2.5%
B 情報公開の拡大について		
積極的に取り組んでほしい	723	90.4%
あまり重視しなくてもよい	57	7.1%
なんともいえない・わからない	20	2.5%
C ごみ・廃棄物規制について		
積極的に取り組んでほしい	746	93.3%
あまり重視しなくてもよい	43	5.4%
なんともいえない・わからない	11	1.4%
D 中心市街地の活性化について		
積極的に取り組んでほしい	516	64.5%
あまり優先しなくてもよい	255	31.9%
なんともいえない・わからない	29	3.6%

「独自性」「民間感覚」などの期待8割超す

問6 あなたは、新知事の資質や県政の手法について、どのように思いますか。		
A 独自性について		
期待する	701	87.6%
期待しない	69	8.6%
なんともいえない	30	3.8%
B 民間感覚について		
期待する	671	83.9%
期待しない	84	10.5%
なんともいえない	45	5.6%
C 透明性について		
期待する	670	83.8%
期待しない	79	9.9%
なんともいえない	51	6.4%

県議会との関係「協調」4割 「緊張」5割

問7-A 県議会との関係について		
協調の関係が強い方がよい	322	40.3%
緊張の関係を保つ方がよい	402	50.2%
なんともいえない・わからない	76	9.5%

行政の地域バランス「公平」7割 「重点的」3割近く

問7-B 行政の全県的なバランスについて		
公平を心がける方がよい	554	69.3%
地域重点的に行う方がよい	215	26.9%
なんともいえない・わからない	31	3.9%

副知事の起用「2人」「女性」「公募」横一線

問7-C 副知事の起用について		
2人制の導入	211	26.4%
女性の起用	211	26.4%
公募制の導入	204	25.5%
これまでと同じでよい	124	15.5%
なんともいえない・わからない	50	6.3%

支持政党「民主」トップ 僅差で「自民」 無党派層6割弱

問8 ふだんどの政党を支持していますか		
民主党	130	16.3%
自民党	106	13.3%
共産党	27	3.4%
公明党	20	2.5%
社民党	19	2.4%
自由党	17	2.1%
保守党	3	0.4%
その他の政党	5	0.6%
支持する政党はない	460	57.5%
いいたくない	13	1.6%